

平成23年度 決算概要

歳入総額 40億9,285万円 歳出総額 38億9,574万円

前年度比 3.9%増 (1億5,291万円増) 前年度比 4.5%増 (1億6,651万円増)

～ 一般会計 歳入歳出決算の概要 ～

平成23年度の松田町歳入歳出決算について、町議会定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計の歳入総額は40億9,285万円、歳出総額は38億9,574万円で、歳入は前年度比で3.9%、歳出は4.5%と歳入歳出ともに前年度を上回る結果となりました。歳入では、昨年度に引き続き、納税義務者や、個人所得の減少等の影響により、個人町民税が減少となり、町税全体としても、前年度比

2.0%の減となっています。歳出では政策課題とした「定住化」への施策として、住宅取得促進事業などの新規事業や小児医療費の助成対象を拡大するなどの子育て支援策を実施しました。

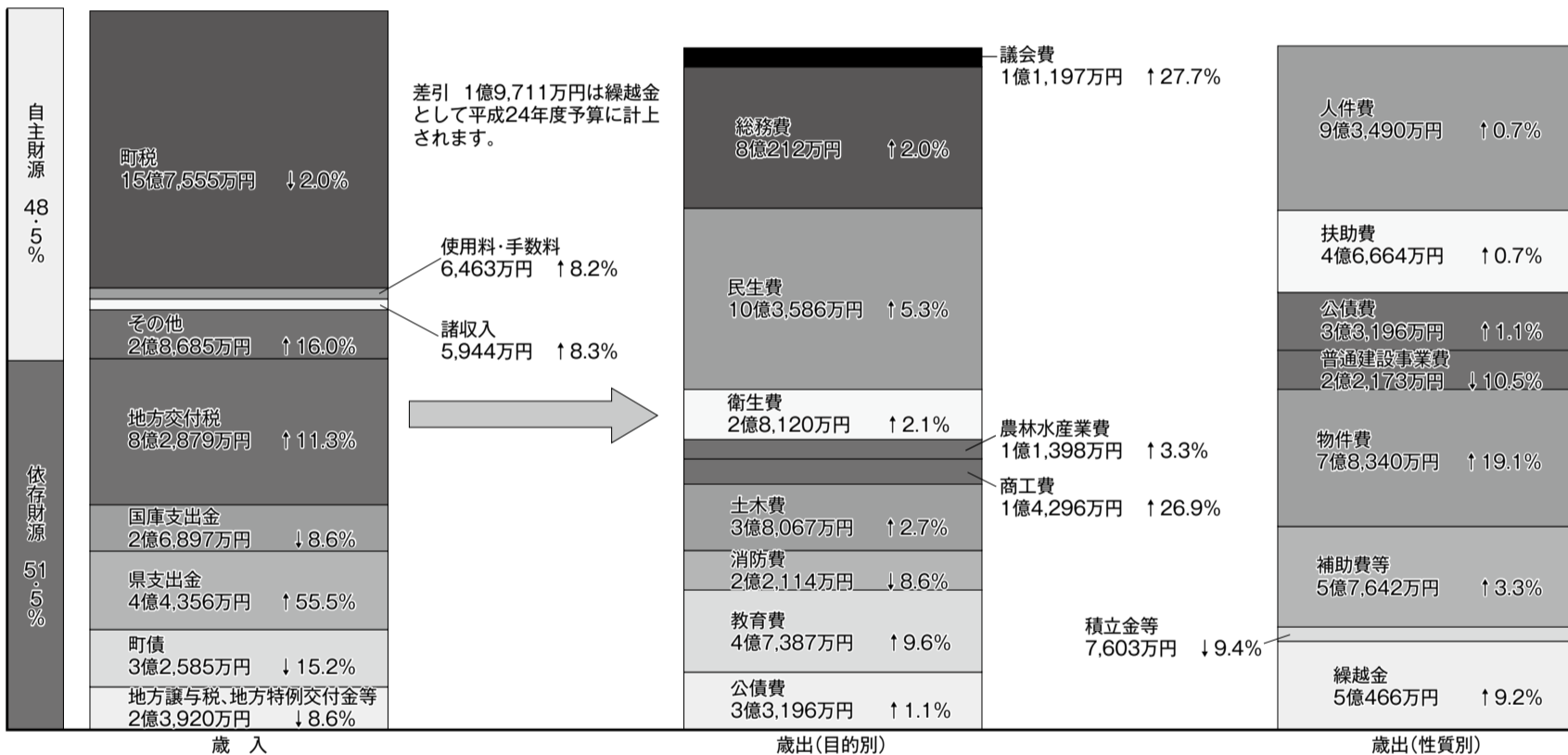
平成23年度当初予算額(39億6千万円)と比較すると、歳入は3.4%の増額、歳出は2.6%の減額となっています。

なお、一般会計では、平成23年度から平成24年度への繰越事業はありませんでした。

決算とは

1年間の町の財政計画であると同時に諸施策を定め、毎年4月号でお知らせしている【予算】に対し、実際にお金が入り(歳入)、何に使ったのか(歳出)をまとめたものが、【決算】です。

町の決算は、年度終了後、監査委員の審査を受けた後、町議会で承認を受け、確定します。

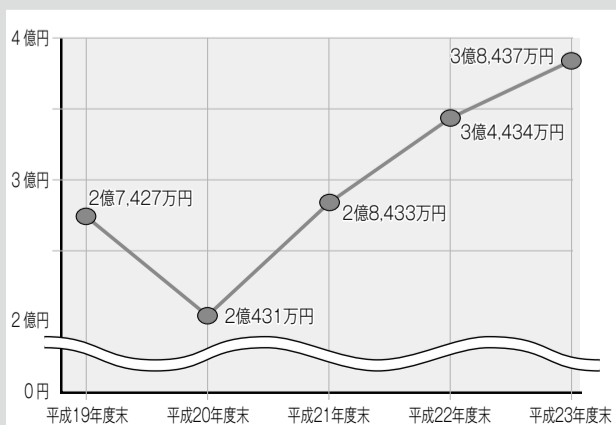


* ↑ ↓ は前年度比を表しています * 金額は1万円未満を四捨五入しているので合計値が一致しない場合があります

財政調整基金の積立状況

財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもので、地方公共団体の貯金のことです。

町では財源不足時の補てんや、災害発生時等に緊急に必要な公共事業、財産取得などに備え、継続的に基金の積み立てを行っています。平成23年度末現在の財政調整基金の残高は、3億8,437万円となっています。



再生特別交付金事業や緊急雇用創出事業の補助金を財源とした委託事業等が前年度よりも多くなったことが要因となっています。

「性質別決算」

性質別決算とは、支出について経済的性質を基準として分類したものです。平成23年度の性質別決算の特徴としては、前年度に比べて物件費が19.1%増加していることがあげられます。これは、歳入決算の増加要因となっていた、ふるさと雇用再生特別交付金事業や緊急雇用創出事業の補助金を財源とした委託事業等が前年度よりも多くなったことが要因となっています。

「目的別決算」

目的別決算とは、支出を行政目的によって分類したものです。平成23年度の目的別決算の特徴としては、まず議会費(議会に関する経費)が前年度に比べて27.7%増となったことがあげられます。これは議員年金制度廃止に伴う退職一時金の増加による議員共済会負担金の増によるものです(監査広報7面4段参照)。また消防費(消防に関する経費)は前年度に比べ8.6%の減となっています。これは、平成22年度には第三分団詰所建て替え事業が行われましたが、平成23年度には詰所などハード面の整備はありませんでした。その他には、商工費(商工振興や観光振興に関する経費)が26.9%の増となっていますが、これについては、新たにコスモス館(物産館)運営支援事業や農産物等処理加工調査事業を実施したことによります。

平成23年度歳入の決算と目的別・性質別の歳出の決算について